

2026 年 10 月 22 日

スカパー J S A T 株式会社

代表取締役 執行役員社長 米倉 英一

(コード番号：9412 東証プライム市場)

広報 IR 部長 松藤 浩一郎

TEL：03(5571)7800

**スカパー J S A T、浸水状況を最短 30 分で可視化する  
新サービス「AQUANA」提供開始**  
～独自アルゴリズムにより、災害後の SAR 衛星画像 1 枚で迅速な状況把握を支援～

スカパー J S A T 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長：米倉 英一、以下、スカパー J S A T）は、1 枚の SAR（合成開口レーダー）衛星画像から浸水域を自動抽出し、最短 30 分で解析結果を提供する新サービス「AQUANA（アクアナ）※商標出願中」の国内提供を開始しました。今後は、海外への展開も順次進めていく予定です。

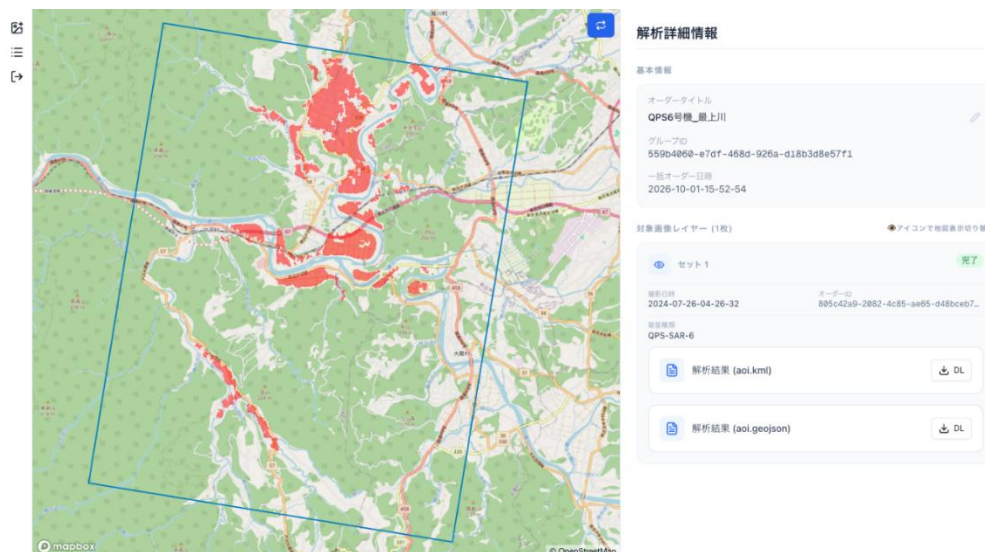


サービスロゴ（商標出願中）

近年頻発する豪雨や台風被害において、発生直後の迅速・広域な状況把握が強く求められています。しかし、現地調査には時間を要し、光学衛星では悪天候時や夜間に被災状況を把握することが難しいという課題があります。これに対し、天候や昼夜を問わず地表を観測できる、SAR 衛星画像の活用が期待されています。

AQUANA は、利用者が災害後に取得した 1 枚の SAR 画像を Web 上にアップロードするだけで、独自のアルゴリズムが浸水域を自動解析し、最短 30 分で結果を提供します。一般的な解析方法では、発災前後の複数時期の SAR 画像を比較する手法が用いられますが、AQUANA は発災後の SAR 画像 1 枚のみで浸水域を抽出できるため、事前に過去画像を用意する必要がありません。さらに本アルゴリズムは、国内外の大型・小型を含む、多様な SAR 衛星で撮像された画像を約 10 分<sup>※1</sup>で処理することが可能です。画像のアップロードから結果提供までの全工程が最短 30 分で完了するため、発災直後の迅速な状況把握につながります。また、SAR 画像の解析には専門的な知識が必要とされてきましたが、AQUANA では画像に応じて解析条件が自動調整されるため、専門知識がない方でも、簡単に利用することができます。これにより、自治体による初動対応や被害状況の把握、損害保険会社による被災範囲の確認や査定準備など、水害直後のさまざまな意思決定を支援します。

<sup>※1</sup> アルゴリズムによる画像解析処理に要する時間。画像のアップロードなどの解析準備から結果提供までの一連の行程は最短 30 分。



AQUANA による浸水域の解析結果（赤色で示した箇所が抽出された浸水域）

スカパー J S A T は、衛星画像の提供に加え、SAR 画像を活用した斜面・インフラの地盤変動リスクをモニタリングするサービス「LIANA (Land-deformation and Infrastructure ANALysis)」を 2022 年に提供開始するなど、地球観測領域における衛星データの活用を推進してきました。今後も AQUANA をはじめとするサービスを通じて衛星データ活用の裾野を広げるとともに、高度な宇宙データを、誰もが使いやすい形で社会実装し、あらゆる意思決定を支える新たな価値創出に取り組んでまいります。

#### ■従来の浸水域解析と AQUANA の比較



以上

【お問い合わせ先】スカパー J S A T 株式会社 広報 IR 部  
 TEL : 03-5571-7600 (広報担当) E-mail: [pr@sptv.jsat.com](mailto:pr@sptv.jsat.com)  
 03-5571-1515 (IR 担当) E-mail: [ir@skyperfect.jsat.co.jp](mailto:ir@skyperfect.jsat.co.jp)  
 HP : <https://www.skyperfect.jsat.space/> X : [https://x.com/sptv.jsat\\_pr](https://x.com/sptv.jsat_pr)